

賛助会員について

個人会員 一口 1,000 円(何口でも可) **特別会員** 一口 10,000 円

※個人会員で 10 口以上の応援をいただける場合は、特別会員をお勧めします

特典

特典内容	個人会員	特別会員
1) 情報紙「福祉会サポーターズ」(A3 両面/年 1 回発行)	○	○
2) 年次報告書の送付 (総会資料をまとめた冊子状のもの)	—	○
3) 総会資料および年次報告書への会員名掲載	—	○
4) 公式ウェブサイトへの会員名掲載	—	○
5) 「宮城県聴覚障害者福祉会を支援しています」という文言を 対外的に利用可能	—	○

お申込方法

①ゆうちょの払込用紙をつかう

口座/02220-6-121362 名義/一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会

②窓口・ATM で支払う

下記の口座にお振込いただき、お名前・ご住所・電話 (FAX) を事務局までご連絡ください。

名義/一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会

*郵便振替の場合/18100 11904391

*銀行から振込みの場合/ゆうちょ銀行 八一八支店 普通 1190439

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会 事務局

980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 3 丁目 1-6 宮城県聴覚障害者情報センター内

電話 022-393-5501 FAX 022-393-5502

Mail secretariat@miyacho-fukushi.jp

Web <http://www.miyacho-fukushi.jp/>

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会

福祉会サポーターズ

募 集

(入会案内)

聴覚障害者の暮らしを
よりよいものにするために
ご支援をお願いします！

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会は、

宮城県内のすべての聴覚障害者がいきいきと暮らせる社会をめざして、

きこえやことばのバリアをなくすための事業に取り組む団体です。

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会は、こんな事業を行っています。

愛称：みみサポみやぎ
宮城県聴覚障害者
情報センターの
運営
(宮城県委託事業)

気軽に立ち寄れる
明るいセンターです！

- ・研修室や交流スペースもあります
- ・聴覚障害に関する情報を発信
- ・聴覚障害に特化した相談窓口
- ・聴覚障害のことに関する“出前講座”
- ・手話通訳者や要約筆記者の養成・研修

みやぎ通訳派遣
センターの運営

手話通訳者や要約筆記者を
派遣しています

宮城県内の
聴覚障害関係団体
とのネットワーク

宮城県内の聴覚障害関係団体

一般社団法人宮城県聴覚障害者協会

特定非営利活動法人みやぎ・せんだい中途失聴難聴者協会

宮城県手話通訳問題研究会

特定非営利活動法人パソコン要約筆記文字の都仙台

宮城県難聴児を持つ親の会

特定非営利活動法人宮城ろう重複連絡会そよかぜ広場

みやぎ盲ろう児・者友の会

宮城県聴覚障害学生の会



一般社団法人
宮城県聴覚障害者福祉会理事長

小泉正寿

一般社団法人宮城県聴覚障害者福祉会はすべての聴覚障害者の社会参加と自立を支援し、宮城県および県内市町村等関係機関と連携を図り、生活・文化の向上と福祉の増進に寄与することを目的としています。このために、聴覚障害関係団体で連携を図りながら当会の事業に取り組んでいるところですが、さらに、当会の目的・趣旨にご賛同いただきたく、個人・企業等に福祉サポーターズを募集しているところです。皆様の暖かいご協力・ご支援をお願い申し上げます。

もっと知ってほしい！聞こえないこと



渡邊征二さん(ろう者)

聴覚障害は理解されにくい障害と言われますが、聞こえぬが故の無理解や差別にあったとき、同じ聴覚障害の仲間がいることは大きな勇気と力になります。私たちの言葉である手話を広め、私たちが情報を得るための手話通訳者を増やし、聴覚障害者の権利を守っていくことが大切です。



松崎丈さん(難聴者)

難聴者のきこえは多様で、意思疎通の手段も音声、文字、指文字、手話など様々です。中途失聴者もいます。皆さんと一緒にコミュニケーション、情報保障や心理面の支援の輪を広げていきたいと思っています。



伊藤史子さん(ろう重複の親)

ろう重複障害とは、聴覚障害に知的障害や身体障害を合わせ持っています。理解に時間が掛かる子供たちですが、個人の障害種・レベルに合う支援や情報提供により楽しい時間を過ごさせたいです。



早坂洋子さん(盲ろう者)

目と耳の両方が不自由な盲ろう者は、移動・コミュニケーション・情報取得が困難です。触手話、指点字、手のひら書き等で会話が出来ます。様々な工夫と、支援のもと、豊かな人生を送りたいです。

(レイアウト編集協力 松本由美(ろう者))